

令和7年(2025年)7月11日

報道関係 各位

真庭市役所

蒜山ミュージアム第13回展覧会、「美術家」の魅力を堪能！

山本修司展：描写する水面^{すいめん}／枯山水^{みなも}の水面

自分の興味や表現したい内容に合わせて、自由に表現方法を選んで制作を続ける、山本修司。近年作家が関心を寄せる「水面」を、絵画・版画・オブジェ（立体）・レリーフなど様々な手法で表現した作品を中心に、過去の作品から新作まで一同に展示いたします。画家でも彫刻家でも写真家でもない「美術家」山本修司の魅力をどうぞお楽しみください。

開催前日には、メディアの方を中心とした内覧会を開催いたしますのでご取材・ご掲載くださいますよう、なにとぞよろしくお願いいたします。

開催概要▶ ※詳細は別紙要項をご参照ください。

タイトル：山本修司展：描写する水面^{すいめん}／枯山水^{みなも}の水面

会場：真庭市蒜山ミュージアム
(真庭市蒜山上福田 1205-220)

会期：令和7年7月19日(土)～11月24日(月)
*毎週水曜休館



内覧会概要▶

日時：令和7年7月18日(金) 午後3時～5時
(受付は午後4時30分まで)

会場：真庭市蒜山ミュージアム (GREENable HIRUZEN 内)

内容：市長あいさつ、館長による趣旨説明、作家による展示案内など
(予定)

お問い合わせ先▶

生活環境部スポーツ・文化振興課
(担当 三井)

TEL：0867-42-1178

FAX：0867-42-1416

真庭市蒜山ミュージアム 山本修司展概要

タイトル： 山本修司展：描写する水面(すいめん)／枯山水の水面(みなも)
山本修司展：描写する水面（すいめん）／ 枯山水の水面（みなも）

会 場： 真庭市蒜山ミュージアム
真庭市蒜山上福田 1205-220 GREENable HIRUZEN 内
URL <https://greenable-hiruzen.co.jp>

会 期： 2025（令和 7）年 7 月 19 日（土）～ 11 月 24 日（月・振休）

休 館 日： 毎週水曜日（8/13 は開館）
開館時間： 9:00 ～ 17:00（入館は 16:45 まで）

入 館 料： 一般（高校生以上）1 人 500 円（予定） 中学生以下無料
有料 20 人以上の団体は 1 人 400 円
真庭市蒜山郷土博物館の入館券の半券を提出いただいた方は 100 円引き
障害者手帳をお持ちの方など*は 250 円（介助者 1 人は無料）

*詳細はウェブサイト（<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/13/49398.html>）をご確認下さい

主 催： 真庭市
後 援： 真庭市教育委員会、山陽新聞社、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、産経新聞社、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送、真庭いきいきテレビ、FM 岡山

概 要： 山本修司（やまもと しゅうじ／1959 年愛媛県生まれ）

1982 年大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業の山本修司は、長年関西を中心に活動してきた美術家で、近年拠点を故郷の愛媛県松山市に移した後も精力的に活動を続けています。同世代の「関西ニューウェーブ」などと呼ばれた作家たちに近い立ち位置で、ジャンルや素材・技法にとらわれない、自由な発想で制作をしています。近年は、木漏れ日から水面とその光の反射へと興味が移り、自然の中の水面の反射を思わせる、抽象と具象のあわいを行くような平面作品（油彩画、写真への彩色、写真を用いた 1 点ものの版画）や水平面を意識した器状の石を接着したオブジェ、河原の風景を思わせる石のレリーフなどを制作し、多くの人を魅了しています。

今回の個展では本展覧会のために制作された新作に加え、これまでに制作された近作・旧作から選抜した作品も展示する予定です。

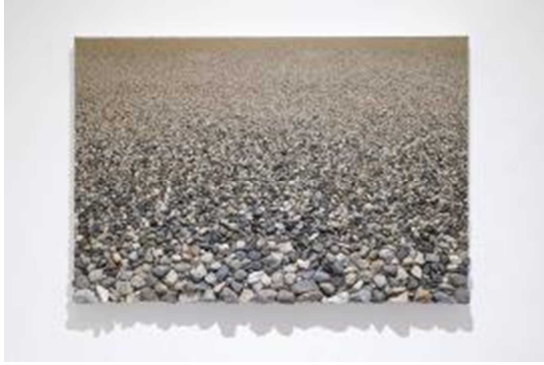
イベント：

- ・ワークショップ（一般向け）「新しい星座づくり」 石を用いた作品制作のワークショップ
8/9（土）10:30～ 120 分程度 GREENable HIRUZEN 2 階フリースペース
- ・アーティストトーク 出品作家が会場を巡りながら自作やその背景などを解説します。
8/9（土）14:00～ 60 分程度
- ・対談 尾崎信一郎 × 山本修司 鳥取県立美術館の尾崎館長との対談
9/27（土） 14:00～ 90 分程度 GREENable HIRUZEN 2 階フリースペース
- ・学芸員によるギャラリートーク 担当学芸員が作家・作品や展覧会についてお話します
7/19（土）14:00～、 10/19（日）11:00～、 11/3（月・祝）11:00～
（各回とも 40 分程度）

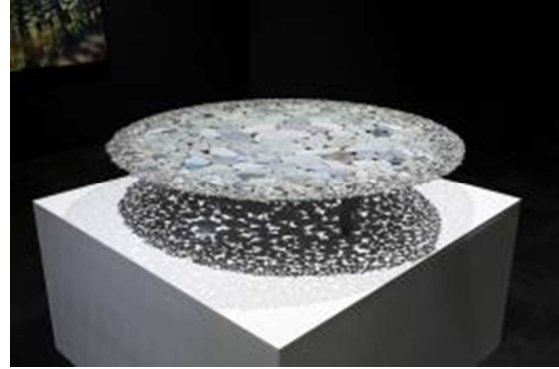
山本修司展

描写する水面／^{すいめん}枯山水の水面^{みなも}

広報用写真リスト



1. 「river (ishite) '24」 2024 年
photo: Minamino Kaoru



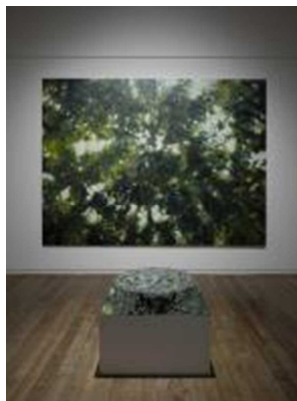
2. 「MATER '20」 2020 年
photo: Minamino Kaoru



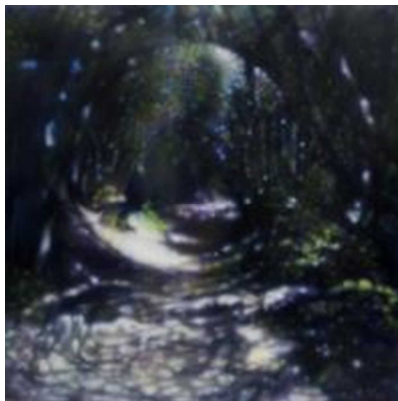
3. 「つ啄之機」(そつたくのき) 2014 年
photo: Minamino Kaoru



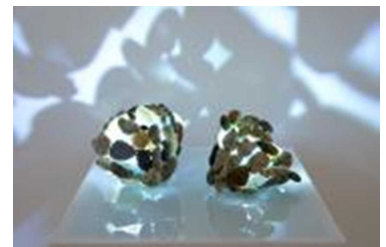
4. 「産霊 壺」(さんれい いち) 2014 年
photo: Minamino Kaoru



5. 「双子座の企み」(奥) 2013 年
「MATER III」(手前) 2017 年
photo: Suemasa Mareo



6. 「Vidro (fragile) '11」 2011 年
photo: Minamino Kaoru



7. 「掬ひ」(むすび) 2014 年
photo: Minamino Kaoru

広報用写真申し込み用紙

FAX 0867-42-1416 (真庭市スポーツ・文化振興課)

山本修司展 描写する水面／枯山水の水面

真庭市スポーツ・文化振興課

蒜山ミュージアム担当 宛

TEL.0867-42-1178

Email. sportsbunka@city.maniwa.lg.jp

組織名	媒体名
媒体種類(月刊誌・新聞・ウェブサイト等)	
ご担当者様(部署・お名前)	
ご連絡先 (tel) (mail)	
掲載日 or 期間	URL (web 掲載のある場合)

希望画像に チェック	画像 No.	キャプション 画像はすべて作品部分のトリミング不可	掲載サイズ
	1.	「river (ishite) '24」 2024 年 photo: Minamino Kaoru	
	2.	「MATER '20」 2020 年 photo: Minamino Kaoru	
	3.	「啐啄之機」(そつたくのき) 2014 年 photo: Minamino Kaoru	
	4.	「産霊壺」(さんれいいち) 2014 年 photo: Minamino Kaoru	
	5.	「双子座の企み」(奥) 2013 年、 「MATER III」(手前) 2017 年 photo: Suemasa Mareo	
	6	「Vidro (fragile) '11」 2011 年 photo: Minamino Kaoru	
	7	「掬ひ」(むすび) 2014 年 photo: Minamino Kaoru	

◎上記用紙にお書き込みの上 FAX するか、同様の内容をメールに書いて、件名「山本修司展 写真請求」でお送りください。

山本修司展



描写する水面／枯山水の水面

すいめん

みなも

2025年7月19日(土) - 11月24日(月・振休)

真庭市蒜山ミュージアム

まにわしひるぜん

〒717-0602 岡山県真庭市蒜山上福田1205-220 GREENable HIRUZEN内

休館日／毎週水曜(8/13は開館)

開館時間／9:00～17:00(入館は16:45まで)

入館料 一般(高校生以上)・・・1人500円 中学生以下・・・無料
20人以上の団体・・・1人400円

真庭市蒜山郷土博物館の入館券の半券を提出いただいた方は100円引き

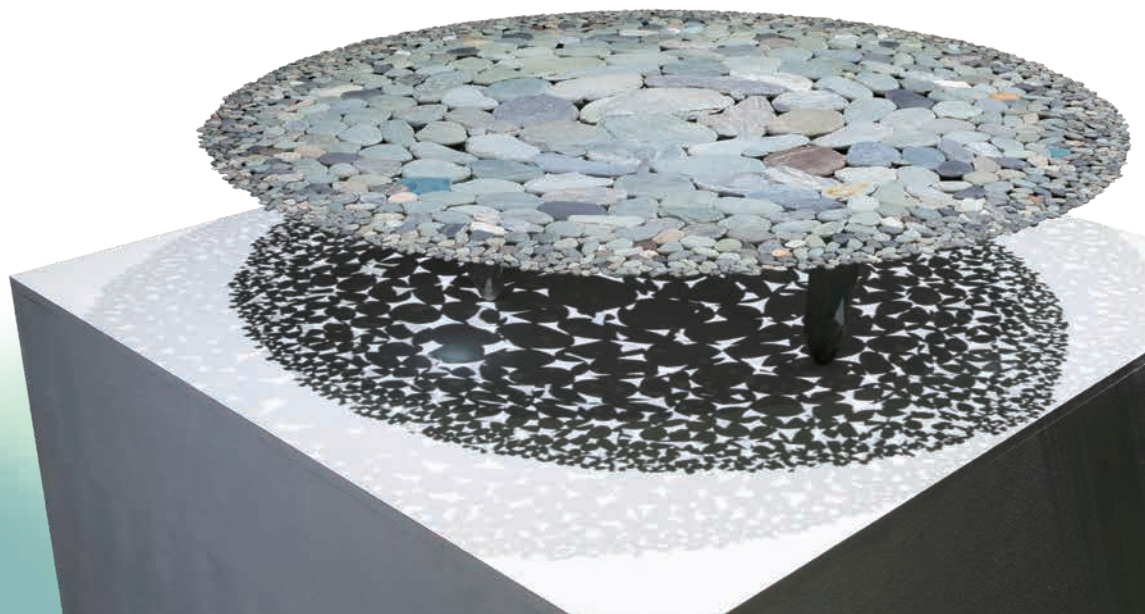
障害者手帳をお持ちの方など※は250円(介助者1人は無料)

※詳細はウェブサイトをご確認ください。(https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/13/49398.html)

主催／真庭市 後援／真庭市教育委員会、山陽新聞社、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、産経新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、真庭いきいきテレビ、FM岡山

同時開催：隈研吾建築資料展示(ギャラリーCのみでの展示となります)

※やむを得ない事情により、会期や内容等が変更になることがあります。ホームページ等でご確認ください。



山本修司展

描写する水面／枯山水の水面

やまもと しゅうじ
山本 修司

1959年愛媛県生まれ、1982年大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業。ジャンルにとらわれない自由な発想で制作。近年は水面の反射を思わせる平面作品や、水平面を意識した石の接着によるオブジェ、レリーフなどを制作し、多くの人を魅了している。長年関西を中心に活動し、近年は愛媛県を拠点に活動。個展・グループ展多数。

アーティストってどんなイメージですか。自由人？それともひとつのことに打ち込む求道者？

今回ご紹介する山本修司さんは、特定の分野を極める芸術家を尊敬していますが、ご自身は、自分の興味や表現したい内容に合わせて、自由に表現方法を選んでいます。そのため作品は、絵画・版画などからオブジェ（立体）やレリーフまでさまざま。近年は木漏れ日への興味から水面に関心を寄せ、自然の中の水の反射を思わせる平面作品や、同じ水でも「水平面」を意識した石を接着したオブジェ、河原を思わせる石のレリーフなどを発表しています。

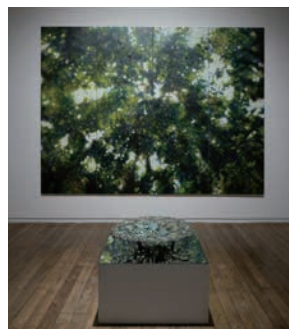
今回の展覧会では、最近の「水(平)面」にまつわる作品を中心に、過去のさまざまな作品も展示して、画家でも彫刻家でも写真家でもない「美術家」山本修司の魅力に迫ります。



啐啄之機 2014/photo: Minamino Kaoru



産霊 苧 2014/photo: Minamino Kaoru



奥：双子座の企み 2013 手前：MATER III 2017
photo: Suemasa Marco

会期中のイベント

■ ワークショップ「新しい星座づくり」

8/9(土) 10:30 ~ 12:30

会場：GREENable HIRUZEN 2階フリースペース

対象：小学3年生以上 おとなまで

定員：15名(要予約、入館料のみにてご参加いただけます)

予約方法は決定次第、当館ホームページ等でお知らせします。

■ アーティストトーク 山本修司

8/9(土) 14:00 ~ 15:00

予約不要、入館料のみにてご参加いただけます。

■ 対談 尾崎信一郎(鳥取県立美術館館長) × 山本修司

9/27(土) 14:00 ~ 15:30

会場：GREENable HIRUZEN 2階フリースペース

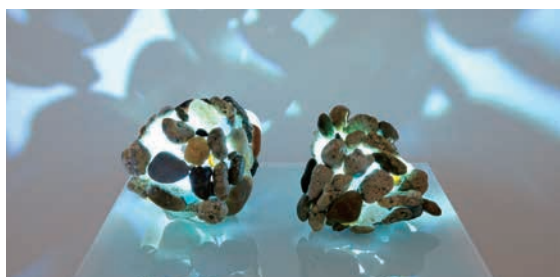
予約不要、入館料のみにてご参加いただけます。

■ 学芸員によるギャラリートーク(説明会)

7/19(土) 14:00 ~ / 10/19(日) 11:00 ~ / 11/3(月・祝) 11:00 ~

各回とも40分程度

予約不要、入館料のみにてご参加いただけます。



掬ひ 2014/photo: Minamino Kaoru

真庭市蒜山ミュージアム

Maniwa City Hiruzen Museum



真庭市蒜山上福田1205-220 GREENable HIRUZEN内

9:00~17:00(入館は16:45まで)

毎週水曜日休館(8/13は開館)

入館料

一般(高校生以上) 1人500円 中学生以下 無料
有料20人以上の団体は1人400円

真庭市蒜山郷土博物館入館券の

半券の提示で100円引き

障害者手帳をお持ちの方など※は250円(介助者1人は無料)

*詳細はウェブサイトをご確認ください。

(<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/13/49398.html>)

アクセス



米子自動車道蒜山インターチェンジから約3分

ヒルゼン高原センターの駐車場(無料)をご利用ください。

※GREENable HIRUZEN敷地内に身障者用駐車場(2台)あり

※鳥取県立美術館(倉吉市)から国道313号-482号経由で

約33km(通常45分程度)

湯原温泉中心部から国道313号-482号経由で

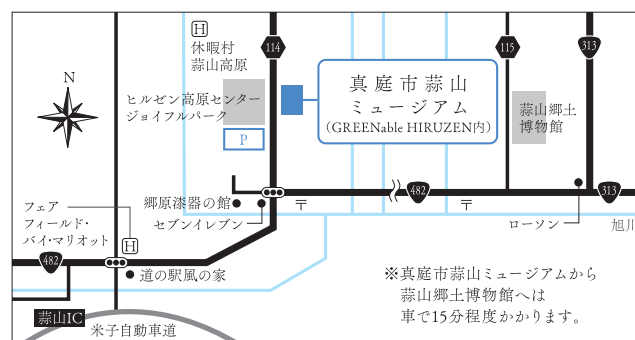
約25km(通常30分程度)



岡山駅より中鉄バス 勝山～岡山線「勝山」

(JR中国勝山駅前)で真庭市コミュニティバス

乗換え、湯原温泉経由「蒜山高原センター前」下車すぐ



※真庭市蒜山ミュージアムから
蒜山郷土博物館へは
車で15分程度かかります。